



安全データシート
IRATHANE P-155HS RESIN

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 IRATHANE P-155HS RESIN

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 2成分型、イソシアネートを基剤とする接着剤。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 急性毒性 区分3 - H331 皮膚刺激性 区分2 - H315 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319
呼吸器感受性 区分1 - H334 皮膚感受性 区分1 - H317 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335

環境有害性 区分外

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H331 吸入すると有毒。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。

IRATHANE P-155HS RESIN

注意書き	<p>P261 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。</p> <p>P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。</p> <p>P284 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。</p> <p>P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。</p> <p>P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。</p>
-------------	---

補足的なラベル情報 EUH204 イソシアネートを含む。アレルギー性反応を起こすおそれ。

含有物 4,4'-METHYLENEDI(CYCLOHEXYL ISOCYANATE)

2.3. 他の危険有害性

イソシアネートを含む。アレルギー性反応を起こすおそれ。

項目3：組成及び成分情報

3.2. 混合物

ビス(4-イソシアナトシクロヘキサン-1-イル)メタン CAS番号: 5124-30-1	30-60%
分類 急性毒性 区分3 - H331 皮膚刺激性 区分2 - H315 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 呼吸器感作性 区分1 - H334 皮膚感作性 区分1 - H317 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

項目4：応急措置

4.1. 応急措置の説明

吸入	被災者を汚染源から移動させること。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
経口摂取	被災者を汚染源から移動させること。直ちに医師の手当てを受けること。
皮膚接触	皮膚を石鹸と水で十分に洗うこと。少なくとも15分間洗い続けること。医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けること。少なくとも15分間洗い続けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症候に基づいた処置を行うこと。

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 二酸化炭素または粉末消火剤で消火すること。

IRATHANE P-155HS RESIN

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼副産物 水と反応する。

5.3. 消火を行う者の保護

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

項目6: 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 蒸気の吸入および皮膚ならびに眼との接触を避けること。適切に換気すること。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 あらゆる環境汚染の発生を防止または最小限に抑えること。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 すべての点火源を排除すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。適切に換気すること。不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

項目7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 蒸気およびスプレー/ミストの吸入を避けること。適切に換気すること。優良個人衛生手順を実行しなければならない。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。熱、火花および裸火から遠ざけること。混触危険物質 (セクション10を参照) から遠ざけて保管すること。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

項目8: ばく露防止及び保護措置

8.2. ばく露防止

適切な設備対策 適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。製品または成分の職業暴露限界値がある場合にはこれを遵守すること。

眼 / 顔面の保護

化学物質用の飛沫保護ゴーグルを着用すること。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護

リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護 接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

IRATHANE P-155HS RESIN

衛生措置	洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。取扱中は飲食禁止および禁煙。各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。
呼吸器の保護	換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：有機蒸気フィルタ。ガスフィルタ、タイプA2。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

項目9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	透明な液体。
臭い	かすかな臭い。
pH	pH (希釈液) : 7 @5%
融点	決定されていない。
初留点及び沸騰範囲	148.8°C @
引火点	198.8°C PMCC (ペンスキーマルテンスクローズドカップ)。
蒸発速度	決定されていない。
蒸気圧	決定されていない。
蒸気密度	決定されていない。
相対密度	1.03 @ °C
自己発火温度	決定されていない。
揮発性有機化合物	この製品は最大含有量0g/litreのVOCを含んでいる。

項目10：安定性及び反応性

反応性	次の物質は製品と反応するおそれがある：酸。アルコール、グリコール。アルカリ。アミン。水と強く反応する。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	重合するおそれがある。
避けるべき条件	熱を避けること。次の物質との接触を避けること：強酸化剤。激しい反応または沸騰を引き起こすおそれがあるのでこの製品には決して直接水を加えてはならない。
混触危険物質	強アルカリ。強酸。水、蒸気、水混合液。アミン。アルコール、グリコール。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。

項目11：有害性情報

11.1. 有害性情報

急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性推定値 (ATE) (気体ppmV)	2,160.49
-----------------------------	----------

IRATHANE P-155HS RESIN

急性吸入毒性推定値
(ATE) (蒸気mg/l) 9.26

急性吸入毒性推定値
(ATE) (粉じん/ミスト
mg/l) 1.54

一般情報

製品は少量のイソシアネートを含む。呼吸器アレルギーを引き起こすおそれがある。呼吸器系刺激を引き起こすおそれがある。

吸入

この製品からの蒸気を吸入すると危険有害性のおそれがある。蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：咳。呼吸困難。長期にわたる高濃度の吸入は呼吸器系に損傷を与えるおそれがある。反復暴露は慢性上気道刺激を引き起こすおそれがある。

経口摂取

飲み込むと不快感を引き起こすおそれがある。胃腸症状、胃のむかつきを含む。

皮膚接触

反復暴露により、皮膚の乾燥またはひび割れを起こすことがある。液体は皮膚を刺激するおそれがある。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

眼接触

眼に重度の障害を与えるリスクがある。重篤な刺激、灼熱痛および流涙。

急性及び慢性健康危険

長期にわたる長時間暴露および反復暴露は永久的な健康問題を招くおそれがある。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

項目12：環境影響情報

生態毒性

製品成分は環境危険有害性に分類されない。しかしながら、大量または頻繁な流出は環境に対して危険有害性影響を及ぼすおそれがある。

毒性

魚に対する毒性は考えられない。

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性

製品の分解性は未知である。

12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性

生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

12.4. 土壌中の移動性

移動性

製品の溶解性は低い。

12.6. 他の有害影響

他の有害影響

知見なし。

項目13：廃棄上の注意

13.1. 廃棄上の注意

一般情報

廃棄物は危険有害性廃棄物に分類される。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。廃棄物、残渣、空の容器、捨てられた作業着および汚染された浄化材料は指定された容器に集め、内容物を示すラベルを貼らなければならない。

廃棄方法

現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

項目14：輸送上の注意

IRATHANE P-155HS RESIN

14.1. 国連番号

国連番号 (道路輸送/鉄道輸送) 2206

国連番号 (IMDG) 2206

国連番号 (ICAO) 2206

14.2. 品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) ISOCYANATES, TOXIC, N.O.S. (4,4'-METHYLENEDI(CYCLOHEXYL ISOCYANATE))

品名 (国連輸送名) (IMDG) ISOCYANATES, TOXIC, N.O.S. (4,4'-METHYLENEDI(CYCLOHEXYL ISOCYANATE))

品名 (国連輸送名) (ICAO) ISOCYANATES, TOXIC, N.O.S. (4,4'-METHYLENEDI(CYCLOHEXYL ISOCYANATE))

14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

道路輸送/鉄道輸送クラス 6.1

道路輸送/鉄道輸送ラベル 6.1

IMDGクラス 6.1

ICAOクラス / 区分 6.1

輸送ラベル



14.4. 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級 III

IMDG容器等級 III

ICAO容器等級 III

14.5. 海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質
該当せず。

14.6. 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 (EmS) F-A, S-A

危険物識別番号 (道路輸送/鉄道輸送) 60

項目15: 適用法令

項目16: その他の情報

改訂日付 2018/04/04

改訂版 4

破棄日付 2017/05/22

IRATHANE P-155HS RESIN

危険有害性情報の全文

H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H331 吸入すると有毒。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。